

“スマート”提案事業推進委員会（第3回）まとめ

- 1：日 時 平成25年3月8日（金）午後7時から8時30分
 2：ところ 西成公民館 1階小会議室
 3：メンバー 信安紀彦（西成） 寺澤市彦（浅野） 松本晃典（赤見）
 吉田尚明（西成） 前田敏勝（瀬部） 熊崎 仁（西成）
 鷗飼一雄（西成） 玉腰嘉行（西成） 熊澤良嗣（瀬部）
 杉村所長 = 出席

4：配付資料

4月当初に一宮市に提出する補助金等交付申請書に関わる年間計画書、予算書

5．協議内容

今後のスケジュールの確認

25年	・補助金等交付申請書提出
4月	・概算払い申請書及び補助金等交付申請書提出 ・推進計画書作成 各種団体に周知
5月	・交付金入金、パンフレット、ステッカー、旗等購入
6月	・西成連区内にスマートドライバーの旗を掲げる
7月	・各学校で、スマートドライバー推進事業（夏休みの親子ふれあい活動の一環として）主旨説明を実施 パンフレット、ステッカー等配布 ・西成連区町会長協議会で各町会長、及び老人会会長に主旨説明を実施し、8月の公報配布時にパンフレット、ステッカー等を配布
8月	・各家庭内で親子でパンフレットを見て話し合いをして宣言文を書いてもらい自動車、自転車の後部にステッカーを貼っていただく
9月	・児童、生徒の自転車に乗る人の宣言文は各学校の掲示板等に貼っていただき意識の高揚を図る
10月	・各校区の運動会の会場でスマートドライバーの旗を掲げ町民の皆様に安全運転意識を啓蒙する。
11月	・各町会長、及び各町内老人会会長は色々な機会を通じてスマートドライバー推進に多くの方が、参加出来るよう、啓蒙する
12月	・各町会長、及び各町内老人会会長は色々な機会を通じてスマートドライバー推進に多くの方が、参加出来るよう、啓蒙する
1月	・各町会長、及び各町内老人会会長は色々な機会を通じてスマートドライバー推進に多くの方が、参加出来るよう、啓蒙する
2月	・各町会長、及び各町内老人会会長は色々な機会を通じてスマートドライバー推進に多くの方が、参加出来るよう、啓蒙する
3月	・計画変更届、完了報告書の提出

内容（発注数）の変更などの確認

科目	支出内容	金額	備考
事務費		10,000	
消耗品	紙、インク等	2,000	
会議費	飲み物	5,000	
役務費等	通信運搬費、損害保険等	3,000	
事業費	()は変更前	990,000	
	パンフレット 16,000(13,000) × 10	160,000	
	二つ折り加工代 16,000(13,000) × 1	16,000	
	宣言文記入用紙 20,000(13,000) × 4	80,000	
	自動車ステッカー 16,000(13,000) × 20	320,000	
	自転車ステッカー 4,000(5,000) × 70	280,000	
	版代 表面：カラー 1版	10,000	
	クリスタル バック 160(130) × 300	48,000	
	消費税	45,700	
	旗	30,300	
合計		1,000,000	

合計金額には変更なし

変更点について森本印刷と交渉し、速やかに発注する

パンフレットなどが刷り上がり着荷したら、クリスタルパックへの詰め替え作業（2万部）への協力を協議会の皆さんにお願いする。

次回（第4回スマート推進委員会）の開催

日時：4月8日、19時から

内容：実施内容の具体的進行策の検討

“ぐるりん”提案事業推進委員会（第3回）まとめ

- 1：日時 平成25年3月11日（月）午後7時から8時10分
2：ところ 西成公民館 1階小会議室
3：メンバー 原 誠完（瀬部） 原 繁雄（瀬部） 小島辰男（西成）
増田卓史（西成） 櫻井征夫（西成） 吉田光良（赤見）
松浦光三（赤見） 山田 栄（赤見） 本地宗治（浅野）
岸 正男（浅野） 熊澤良嗣（瀬部） 江口英機（浅野）
杉村所長 三井堂印刷宮本営業部長 = 出席

4 配付資料

1. ぐるりんマップ掲載候補地リスト（A3 164カ所分）
2. 上記候補地のうち説明文記入台帳（A4 原稿用紙形式 20ページ）

5 協議事項

候補地リストから現存しないものを外すこととした。（番号は候補地リスト番号）
1 安倍氏邸址 10 八幡社 26 牛洗い橋 34 観音寺 48 神明社 49 丹羽郡郡家址
50 丹羽橋 59 丹羽橋 73 専精寺 92 杉浦城 133 公民館（各地）…別掲
138 四日市場公民館 161 山王公民館

保育園、幼稚園、児童館を掲載候補地として追加すべきである 決定

説明文に、「神社には祭神を 寺院には山号」を掲載してはどうか

各委員は、説明文記入台帳に少なくとも自分の校区分の未記入分（神社寺院）を記入して次回委員会に提出していただきたい

難読と思われるものには『ルビ』を振る。 決定

掲載用写真は、撮影を櫻井征夫委員にお願いしたい
なお、吉田光良委員より手持ち写真の提供を申し出ていただいた

西成連区域合併呼称変遷図の“小赤見村、柚木風村、大赤見村、丹羽村の明治22年10月1日合併”による呼称は「赤羽（あかは）村」である

マップは10月15日納入を目途に市広報11月号と共に全戸配布を予定する

次回（第4回ぐるりん推進委員会）の開催

日時：4月9日（火）19時から、1階小会議室

“防災”提案事業推進委員会（第3回）まとめ

- 1：日時 平成25年3月13日（水）午後2時から3時30分
2：ところ 西成公民館小会議室
3：メンバー 安藤久雄（赤見） 岸正武（浅野） 高橋宏幸（浅野）
関戸進（西成） 浅井孝行（赤見） 中根建夫（浅野）
米田和浩（瀬部） 熊澤良嗣（瀬部） 信安紀彦（西成）
江口英機（浅野） 杉村所長 = 出席

4：協議事項

1）25年度事業～地域防災力アップ推進事業（講演会等）の対応

ア）防災講演会

当初予定の山村防災研修所長は平成25年11月15日（金）午後市民会館にて市の自主防災講演会で実施予定

講演の録画等による啓発教材化について市の危機管理課に話した。現在危機管理室が山村氏にメールで照会中。その結果により再検討

山村さんのものがありはしないかの声もあり

の了解が取れない場合等や予定予算（30万）以内で別途講師を依頼するなど地域防災力アップのリーダー養成として講演会等開催を検討する

時期 平成26年1月17日（金）午後2時 公民館 大会議室 120名

講師（案1） 防災・減災とわたくしたちの生き方

名古屋大学減災連携研究センター長 福和 伸夫 教授

（案2）神戸からのメッセージ

兵庫県人と防災未来センター 小野田 敏行 氏

25年度提案事業の実施費用の要求書は、平成24年9月提出した予算要求より対応し、年度末報告で事業計画の変更をする

イ）市開催の防災関係研修会、講演会等への参加

簡易防災備蓄機材取扱い訓練

- 日時 平成25年6月上旬(中間試験中午後)
- ところ 西成東部中学校 西成公民館大会議室
- 内容 簡易防災備蓄機材取扱い訓練
防災講座（避難所開設訓練を含む） 講師 市危機管理室
- 対象 各町内自主防災会メンバー55町内×2人程度＝120名
- 対応 会場・講師陣等の調整を米田安心安全部会長が担当し、4月23日の町会長協議会に対する「地域づくり協議会説明会」までに詰める

自主防災講演会への参加促進

- 日時 平成25年11月15日（金）午後1時30分から3時30分
- ところ 一宮市民会館
- 内容 講師 防災研究所所長 山村 武彦 氏
テーマ 大震災に備える（仮称）

- 参加者 各町内の自主防災会メンバー 各町内会 5 名以上 280 名程度の参加

参加の規模については危機管理課の一応の了解をとる

日赤炊き出し訓練

- 日時 平成 25 年 11 月 6 日 (水) (要調整)
- ところ 西成公民館
- 参加者 自主防災会メンバー (町会長他) 各町内 2 名程度 120 名

自主防災リーダー養成研修

- 日時 平成 26 年 2 月 1 日 (土)、8 日 (土) (前年度の日程で考えると) 9:00 ~ 16:30
- ところ 尾西庁舎

- 対象 26 年度避難所開設訓練をする 5 小学校区から 2 名程度参加で 10 名の派遣を依頼する (校区長ほか地域防災リーダー)

安藤連区長が引き継ぎの際に申し送りをして、理解を深める。

24 年度参加の 4 校区長からは「避難所開設訓練」が大変よかったの声があった。

おそらく、避難所 HUG (避難所運営ゲーム) と思われ、静岡県が開発したもの。愛知県県政お届け講座のテーマ一覧の安全情報 (15 テーマ) の 6 - 8

「避難所運営ゲーム (HUG) って何? ~ 避難所を模擬体験してみよう ~」

< 担当: 愛知県防災局災害対策課災害対策第二グループ

052 - 954 - 6149 FAX 052 - 954 - 6912 >

養成研修の内容を半日 4 回にわけて開催すれば、「地域防災リーダー」を多数養成をすることも可能である。要検討

4 校区で実施する高齢者教養講座に「防災講座」を取り入れてもらうように依頼する。

9 月 ~ 10 月に開催: テーマ「大地震に備える」

3 月 26 日の「新旧校区長引継ぎ」の際にお願いする。

2) 26 年度事業予算要求内容の精査

以下の予算要求内容等は次回開催の推進委員会にて検討

1 避難所開設訓練の日程 [要調整]

ア) 宿泊型避難所開設訓練等 (瀬部・赤見)

日時 平成 26 年 6 月 7 日 (土) 15 時 ~ 8 日 (日) 7 時 30 分

平成 27 年度 6 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日)

瀬部 年 月 日 ~ 日

赤見 年 月 日 ~ 日

同一日に開設訓練は可能か

どちらかの校区を翌 27 年度実施も検討課題とする

イ) 半日型避難所開設訓練等 (西成・西成東・浅野)

日時 平成 26 年 6 月 14 日 (土) 午前 9 時 30 分 ~ 12 時

1 校区は27年度実施を検討

西成	年	月	日(土)
西成東	年	月	日(土)
浅野	年	月	日(土)

2 要求積算の内容点検(24年度要求内訳)

炊き出し訓練(1,250人)

米 10キロ	3,980 × 9 =	35,820
一人0.5合(75g)として		
カレー @100	× 1,250 =	125,000
皿とフォーク@50	× 1,250 =	62,500
ペットボトル@80	× 1,250 =	100,000
燃料@5,000	× 5 =	25,000
炊飯袋 @5	× 1,250 =	6,250

宿泊型訓練(150名宿泊)

朝食 パン @200	× 300 =	60,000
ペットボトル@80	× 300 =	24,000
毛布のクリーニング		
@3,150	× 300 =	945,000
敷マット購入@1,000	× 300 =	300,000
ブルーシート@315	× 300 =	94,500
その他備蓄倉庫復元費		100,000

その他

防災手帳(A5 32p)@210	× 1,500 =	315,000
防災手帳の内容は、どのような内容にするか次回以降検討		
防災減災教育資材(DVD等)		100,000
ベスト(にしなり)@2150	× 220 =	473,000
会議費、資料作成等		82,000
総計		2,848,070円

以上が前年度提出した地域防災力アップ推進事業の予算積算であるが、再度精査して平成25年9月末に正式に市に申請することになる。

新たな視点その他で考慮すべき事項については精査する。

新たな視点・課題は!?

災害時要援護者に対する「愛の笛」は24年度社協事業として要援護者台帳登録者には配布したが、その他台帳未登録者には未配布

災害弱者の見守りは心がける事項であるので「見守りネットワーク事業」との関連

で考慮すべきでないか
未検討予算要求内容で再度協議

5 小学校区で防災避難訓練を実施するためには、5 小学校区ごとに実行委員会の設立
など体制強化が必要

実行委員会まで(?)は、5 校区で訓練実施のためにどのように校区長にアプ
ローチするか次回以降の検討課題

避難所開設のためのマニュアルの作成と実際の運営に要する関係書類、関係資材の点
検・準備も必要ではないか

未検討次回以降

町内の自主防災会の状況の把握等

6 月予定の備蓄資材訓練の際に「自主防災会」の理解を深めるために考慮する。

地域防災関係リーダーの把握(地域にこうした経験者はたくさん見えるのではないか)
し、協力者を把握することも重要

未検討

いつ大震災が起こるかはわからないので、今後とも「地域防災リーダー養成」を継続
するためにも H 2 7 年度に延長するのも一案か

2 6 年度に3 校区(宿泊1 校区・半日2 校区)避難所開設訓練とし、2 7 年度2 校区
(宿泊1 校区 半日訓練1 校)にして、前年度の反省を踏まえて「避難所開設訓練」
を実施する。

次回(第4 回 防災推進委員会)は2 5 年5 月上旬 日時未決定

“ 美化 ” 提案事業推進委員会について

本事業は2 6 年度実施事業である。

1 月3 0 日の第2 回推進委員会で課題は明らかになっている。4 月以降に通学路周辺の
適地調査や協力者調査を実施することになっている。

次回の開催日は未定